

テーマ	協議会が出された報告・意見・課題	幹事会話し合い結果
地域移行促進部会	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域で健康に暮らすための医療面の5つの課題について検討。 ・ 本人の受診をチームで支える：受診をスムーズにするためにどう連携を図ればよいか意見がほしい。 ・ 医療サービスの仕組みを知るために知識を深める機会を増やす。 ・ 変化に気づくために問診が大切、健康ノートの復活、チェックリストを作成。 ・ 服薬管理、見守りについてはしくみづくりができないか？キーパーソンの高齢化。自立生活援助の活用はどうか。 ➡ 医療サイドでは、受診に付き添ってくるのが誰なのかどこまでできているのかわからないことがある。 ➡ ケア24は医師会とやりとりできるルールがある。障害分野でも活用させてもらうことはできないか？ ➡ 医療のことだけでなく、本人の様々なことをいかに代弁できるかが大事ではないか ★ 今後については、共通の課題もあるが、障害によりテーマや優先度の違いもある。テーマなのか障害なのか、今後部会内でどうしていくか検討必要。 	<p>次年度の進め方について、事前に地域移行促進部会の事務局会議で検討した内容が追加報告された。次年度は障害別で2グループで検討を進めていきたい旨報告があった。これを受け幹事会としては、これまでの議論、抽出した課題が無駄にならまいよう、次年度の各グループの議論の中で取り上げられる課題があれば、取り上げ、引き続き検討を深めてほしい旨部会に伝えることとした。</p>
相談支援部会	<ul style="list-style-type: none"> ● Bグループ(重心児について)：医療的ケアのある児の通学の保障について課題提起 ➡ 医療ケアにまつわることについては大きな課題と認識、都の協議会にもあげるとよいのではないか。 ➡ 保護者同乗の問題は、合理的配慮に違反しないのか。教育の保証は憲法にも触れる問題。直ちに手を打たなければ、時間がかかる子どもは 成長してしまう。 ➡ 国都区の動きは情報を共有し、差別解消支援会議でも検討してほしい。 ● Cグループ(高齢期の課題)：介護サービスへの切り替え時、困らないようにどう支えていけばいいのか。意見交換、協議してほしい。 ➡ 介護保険が厳しくなっており、総合支援法とかい離している。年齢があがるのにサービスが減る。ケアマネもみえない障害を正しく理解し、ケアプランを立てなければならない。 ➡ 65歳を超えても通所は可能なことが多いが、居宅介護、ショートステイ等支給量が減少している。一例だけでなく、全体としてどうなのか実態把握が必要。 ➡ 支給量が減ること自体問題、費用負担についても補てんされていない。 ➡ 高齢になると、障害の重度化もある。どうして時間が減るのか、理由が明確でない。自己負担が多くなる、蓄えを崩さないといけない。不安である。 ★ 当事者、ご家族の話をききながらご本人が困らないように調整している。合わせてもらっているというのは少し誤解がある。Cグループの課題についてはもう少し具体的に挙げてほしい。 ・ ケアマネにも障害を理解してもらうことは重要、協議会本会にもケア24やケアマネに入ってもらい、様々な視点からの意見をもらえるとよい。 ● Dグループ(就労の課題)：高等部からの就労やワークサポート一所で就労を支えている等杉並区における就労の課題について広く意見を求めるためにも部会化をどうするか。 ➡ 障害特性の理解が進んでいない、短期間で離職を繰り返す、高齢者の再就職の希望、関係機関で職業準備性の見極めがうまくいっていないなどの課題がある。 ➡ 定着にはスムーズな連携や各機関の役割分担が必要。 ★ 相談支援部会のワーキンググループもメンバーの変更あり、相談支援員だけではテーマ別でやれないことも増えてくる。今まで出した課題は雇用ネットワーク支援会議に引き継ぐが、就労の課題は定着支援だけではないので今後も広く話し合ってもらいたい。 ● Eグループ(児童の課題について)：施設見学を実施。次期は学校との連携の強化、アセスメントについて勉強したいという希望も出ている。 ★ 各グループでの課題が部会でやることのように思う。当事者や家族も入れて全部、部会にしてもいいのでは。 ・ 各グループのテーマが大きくなり、本会とのつながりが見えにくくなっている。部会化も検討して次期につなげたい。最低でも1つは部会にできるとよいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 重心児の医ケアのある児の通学保障の課題については、東京都の自立支援協議会に意見として報告することを再度確認。また差別解消地域支援会議にも合理的配慮がなされていない事案として報告することを確認した。 ● 高齢期の課題については委員からもいろいろな意見がだされた、この意見も含め法改正で国が示している制度でこの課題が解決されるのか？個別の課題と地域の課題が混同していないか整理が必要。次期も引き続きこのテーマで課題を整理してもらい、本会に意見を挙げてもらうことを相談支援部会に伝える。 合わせて、ケアマネやケア24の方へ障害理解を深めてもらう、障害分野も介護保険のことを知るという意味で次期の本会にはケアマネ・ケア24に委員をお願いすること確認。 ● 新設の部会については、相談支援部会のグループ全部を部会にしてもいいのではという意見もいただいたが、今期いろいろ検討してもらった就労について部会化する方向で準備をしていくことを確認した。

その他	<p>ライフステージ別では学齢期、高齢期に大きな課題あり。</p> <ul style="list-style-type: none">・医療ケア児：通学の保証、権利⇒来期以降の課題として残す・課題解決にまで至っていないものについては6期、自立支援協議会で取りあげる。・親亡き後の住まいの検討、住宅確保への要配慮者：居住支援協議会で検討、障害部会では民間アパートへのマッチング、空き家対策については、建築課で継続的に検討。	<p>・部会での議論がどう本会で検討され区に挙げられるのかみえないという意見が多々あることについては、幹事会でも引き続き検討していくことを確認した。</p>
-----	---	--